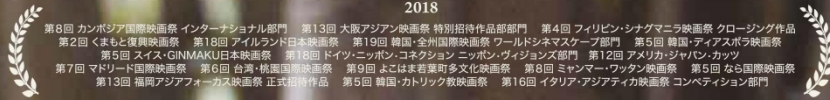
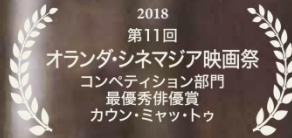


上映会 感想集

日本とミャンマー、二つの国で揺れる家族の愛の物語



いつか会える、その日まで――

8月1日(日)
松江市市民活動センター
5F 交流ホール

僕の帰る場所

P a s s a g e o f L i f e

藤元明緒 長編初監督作品

文部科学省特別選定(成人向き) 文部科学省選定(家庭向き、青年向き)

出演:カウン・ミヤツ・トゥ ケイン・ミヤツ・トゥ アイセ テツ・ミヤツ・ナイン 来河侑希 黒宮ニイナ 津田寛治

撮影監督:岸建太郎/音響:弥栄裕樹/美術:飯森則裕/ヘアメイク:大江一代/制作担当:半田雅也/音楽:佐藤和生
共同プロデューサー:キタガワユウキ/プロデューサー:渡邊一孝 吉田文人/コーディネーション(ミャンマー):Aung Ko Latt Motion Pictures
主催:特定非営利活動法人日本・ミャンマーメディア文化協会/企画・製作・配給:株式会社 E.X.N./宣伝:佐々木瑠都
www.passage-of-life.com

島根県委託事業・みんなで学ぶ人権事業

事業概要

■映画『僕の帰る場所』松江上映会

島根県委託事業・みんなで学ぶ人権事業

文部科学省特別選定（成人向き）／文部科学省選定（家族向き、青年向き）

出入国管理及び難民認定法（入管法）の現状と問題点指摘する映画です。

そして、同じ時期におきたミャンマーでの軍事クーデターと、市民の「民主主義を返せ」という声は、遠くの世界の出来事ではなく、同じ構造の問題は身近なところにもあることに気づくはずです。

【日 時】 8月1日（日）

上映時間 ① 11:00～12:40 ② 13:30～15:10

【会 場】 松江市市民活動センター5F 交流ホール

【当日券】 500円 介助者1名／18歳以下 無料

【主 催】 多文化共生みっくすさらだ

【後 援】 松江市、朝日新聞松江総局、山陰中央新報社、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局



参加者の感想

■ Nice & great movie.

I got a lot of thinking from this movies for my future plan.

訳：素晴らしい映画でした。

私はこの映画から、自分の将来について多くのことを考えました。(出雲市)

■ 家族が日本に帰れたなら… (松江市)

■ 子供が犠牲者だなと思いました。

いまひとつ問題が何か分からなかったです。(松江市)

■ 字幕があると良い。単語をひろって、あとは少しわかった。

子供の心情がせつなかった。(松江市)

■ お兄ちゃんの気持ちが痛い程わかり涙が出てきました。早くミャンマーの状況が良くなって、早く親子が会えるように。(松江市)

■ 幸せを感じる場所、幸せを感じることができる人のつながりとは何だろうと考え続けました。

答えは見つかりません。でも考え続けます。行政もしっかり踏み込んで考えてほしいと思っています。(松江市)

■ 何よりも午後 1 時からという開始時間は守って下さい。ただし、11 時始まりの午前の分は不明です。

県民会館であった写真展がよくわからず伺いました。少しでも知りたい為です。が、期待していた程ではありませんでした。日本国政府の政策の問題をふまえた上で、家族間のズレもあったり、きっかけにはなれませんでした。



今の民主化の問題は??のまま、次に考えましょう。映像で現地の一部が拝見できたものはよりですので、感謝します。(松江市)

■とてもよかったです。ミャンマーを訪れたときのことを思い出しました。子連れを受け入れて頂いてありがとうございました。(松江市)

■事実に基づいたお話だと思いますが、どこまでが演出、脚本によるものかわからないお話でした。それはともかく今日本でも見つめなければならないものを少しでも考えていくきっかけになりました。(松江市)

■入管について改めて考えさせられました。ありがとうございました。(松江市)

■「もう少しガマンして」「ガマン」という言葉を映画の中でたくさん聞き、辛くなりました。

日本に何かの可能性を求め、希望をもってやって来たミャンマーやアジアなど海外の方々にどれだけの安心感を持って頂けているのでしょうか…。いろいろな報道(入管のことなど)を目耳にすると、日本人として何か申し訳ないような気持ちになってしまいます。

国、政治家ももっと真剣に考え取り組んでほしいと思いますが、我々一般人ももっと理解し、行動していかなければと思います。が、その”手だて”もよくわかりません。どう行動していいのか…。教えて頂きたいと思います。ありがとうございました。(松江市)

■すばらしい映画でした！名作！（安来市）

■ありがとうございました。(松江市)

■少し辛い映画(ドキュメント)でした。日本人は考えていないことまで考えさせられました。世界の子供達が皆平等にとは難しい事でしょうね。(松江市)

■この子が今後どう育っていくのか気になります。この家族や友人たちも素直に日本に暮らせるようになるといいのですが。(松江市)

■こんなに一生懸命、純情に働いてる旦那さんにわがまま言う奥さんにびっ

くりしました。たくさんの中で、家族のために心を砕いているお父さん、お兄さん方がいらっしゃる事に感銘です。子供達は親の一言でとても傷付いているのがよくわかります。親は心からの愛を子供に持ってほしいと感じました。すばらしいお母さん、お父さんを私はたくさん知っていますが、子供が安心して帰れる所はお父さん、お母さん、それは親の居る所だろうか？と思います。国際化が広がり、子供達を受け入れる考えが教育にも福祉にも大切です。いい方向に向かいますように…。

■今朝ちょうど朝の NHK のテレビニュースで、日本で生活するミャンマーの子どもたちの活動が取り上げられていました。この映画は 2017 年の制作とのことなので、政変前？かと思いながら観ました。

子供は（誰もが）どこに生まれ、どういう環境で育つかを選べない。周囲の大人だけでなく社会全体が、これからの世代をどう育みたいのか、どういう社会にしたいのかを考えなければと思いました。（松江市）

■悲しいのはいつも犠牲になるのが子供だということです。政治、経済、人権…様々な理由で日本に来る家族、そして母国にもどる家族の中で、つらい思いをするのは子供たちです。大人の都合で振り回される子どものことを考えると何かしたいと強く思いました。「大人は政治が悪いんだ…」なんて言葉で逃げてはいけないと思いました。（松江市）

■ミャンマーの状況（2021 年現在）を聞く限り、より大変な状況を想像します。良い機会をありがとうございました。（松江市）

■最新作を観てから楽しみにしていましたが、大変に良かったです。ヤンゴンの空港が綺麗になってびっくりした。また監督の映画の作り方が真に迫っていてなおかつ暖かい感じがした。東京で会ったときに少し宿で話をしたが、奥さんの影響もあるのか、作品に現れていると思いました。（松江市）

■日本の難民申請のあり方、問題が多い。国際的な関係をもっともっと自由な形にしていかなければならないと思う。（松江市）

■日本の難民政策について改善が進まないのがとても残念です。（出雲市）